アルボ通信

一貫指導で地域ナンバー1クラブを目指す

一般社団法人
アルボラーダ

問い合わせ連絡先：
tsukuba.alborada@gmail.com

文・写真・編集＝
河原崎功治
kk.bsk7@gmail.com

Jr.ユース

HOOP FESTA準優勝

初のアメリカルール方式　堂々銀メダル

5月23、24日に横田米軍基地で行われたHOOP FESTAに出場し、見事準優勝に輝いた。

初戦の横田シーホークス（横須賀基地所属）戦は自慢の堅守速攻を発揮し勝利。続く2戦目の準決勝では日光フェニックスと対戦。前半ファールトラブルに苦しみ7点差ビハインドで前半を折り返したが、後半#6三浦のミドルシュートを皮切りに3点差まで迫ると、#25飯沼のシュートで逆転に成功した。だが、ここからシュートが入らず、再逆転を許し惜敗。敗者復活トーナメントに望みをかけた。

3戦目は敗者復活から勝ち上がった静岡スワッガ。下級生チームながらボールへの執着心や激しいディフェンスが持ち味。前半は連続得点するも点差を離せない嫌なムード。吉村拓HCがキーポイントに挙げたリバウンドを立て直し、徐々に得点差を開いていった。最後は全員出場の大勝で、決勝進出を決めた。

決勝は日光フェニックスとのリベンジマッチとなった。#20矢口のドライブを起点に相手エースをファールトラブルに陥れることに成功。前半を8点リードで折り返した。しかし後半、相手エースが鬱憤（うっぷん）を晴らすかのように猛追。点差を詰められ2点リードで残り20秒。ダブルチームを仕掛けられスティールを許す。さらに相手のシュート時、痛恨のファールを犯しバスケットカウントを沈められてしまう。フリースローを決められ、日光が逆転勝利。1点差で優勝を逃した。同HCは「チーム全体としての成長を感じたが、大事な部分、勝負所での精神力、シュート力が足りなかった。決勝の相手エースの必死さから学ばなければならない」と悔しさをにじませた。

準優勝を果たしたＪｒ.ユースの選手たち

【試合結果】

2回戦　アルボラーダ　37-22　横須賀シーホークス

準決勝①　アルボラーダ　51-57　日光フェニックス

敗者復活戦　アルボラーダ　74-36　静岡スワッガ

決勝　アルボラーダ　56-57　日光フェニックス

＊試合以外の内容について

本大会はアメリカの高校ルールで行われた。30秒タイムアウト、シュートクロックやチームファールなど、普段体験したことのない形式での試合を経験。大会形式も【ダブル・エリミネーション・トーナメント】方式で行われた。これは負けたチームも再度他のチームと戦うチャンスが与えられるものである。

ルール以外でも、ベンチの真後ろにある雛壇となった観客席からの温度を感じながらの試合、大柄な体を作るフードコートでの大量の食事など海外の雰囲気がそこにはあった。このような普段とは異なる文化に触れることで、今までにない発想を得たり、意識することのなかった自分たちの特徴を知るいい機会になったのではないだろうか。

開会式の様子

ジュニア

第4回クラス対抗戦

低学年・高学年ともつくばAが優勝

5月3日、第4回ジュニアクラス対抗戦が谷田部総合体育館にて開催された。午前中は低学年の部、3教室4チームが、午後は高学年の4教室5チームが参加し、総勢61人の子どもたちが練習の成果を競い合った。

低学年の部は4チームでのトーナメント戦。過去3回の対抗戦ではつくばが圧倒的な強さで優勝してきたが、今回は結成わずか1年半の牛久Aと大接戦。両チーム全員出場の総力戦の末、1点差でつくばが逃げ切った。

午後の高学年の部は6年生中心のつくばAが順当に勝ち進み、決勝で最も若い取手ジュニアを迎え撃った。試合は激戦となり、1ピリで10点のリードを奪ったつくばAだったが、じりじりと追いつかれシーソーゲームに。残り1分を切り同点。最後はつくばAの6年生がドライブからゴール下を決め、優勝。負けが続いていたつくばジュニア高学年は悲願の優勝を果たした。

「ーチの指示を聞く選手

【試合結果　低学年】

準決勝①　つくば　68-0　牛久B

準決勝②　牛久A　32-16　取手

3位決定戦　取手　46-0　牛久B

決勝　つくば　26-25　牛久A

【高学年】

1回戦　守谷　44-3　牛久

準決勝①　つくばA　56-14　守谷

準決勝②　取手　31-14　つくばB

4位決定戦　つくばB　75-8　牛久

決勝　つくばA　42-40　取手

ユース

国体予選開幕

2回戦を突破

5月10日（日）から県総合選手権兼国体予選が始まった。昨年準優勝のトップ＆ユースが24日（日）の2回戦から登場。強豪豊里クラブと対戦した。

豊里のゾーンディフェンスを攻略。高校3年生の#19山本がリバウンドとインサイドを制し、点差を広げる。その後もディフェンスが機能し、失点を43点に抑え、初戦を突破した。3回戦は31日、OPSHと対戦する。

アルボラーダ　83-43　豊里クラブ

6月の予定

スタッフ　2日　立浪部屋訪問

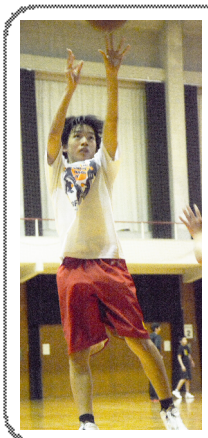
ユース　6、7日　国体予選@笠松運動公園体育館など

ジュニア　20日　関東ジュニア大会U-12@つくばカピオ

Jr.ユース　27、28日　正智深谷カップ@正智深谷高校

毎週金曜日、常陽新聞にて「バモス！アルボラーダ」を連載しています。ぜひご覧ください。

今月の PICK UP ONE



Jr.ユースのキャプテンに任命された三浦（谷田部中3）は中1のとき、神奈川から茨城へ越してきた。環境の変化に臆することなくリーダーシップを遺憾なく発揮している。持ち味は激しいディフェンス。仲間からも高い評価を得る。

練習では声を出し、雰囲気を良くすることを心がけている。アルし、悲願達成を狙う。

三浦　拓海（みうら　たくみ）　H12年4月18日生　166㌢　55㌔　背番号6　ポジション：F　得意プレー：ディフェンス　尊敬する人：皿井宏幸（トップ＆ユース）

VOICE

山本　国体予選に向けてディフェンスの強化、ボックスアウトに重点を置いて練習してきました。大会で1回勝ちましたがこれからが勝負です。チーム全体を底上げするためには若い僕らが成長しなければなりません。「自分がチームを強くする」という主体的な気持ちを持って試合に臨みます。

倉持　豊里戦では何回か相手に流れを渡しかけたときに我慢できたことが勝利につながったと思います。個人でも成長を感じることが出来ましたが、1対1のディフェンスがまだ弱いので今後の課題です。自分は足りないものが多いので一つ一つ改善してチームに貢献したいです。

創立22周年
WING HOME
「価値創造」住宅会社
健やかな
子どもを育てる
家づくり
winghome.co.jp